

夏の風物詩

郷土に伝わる伝統行事



兼山 うんか送り



兼山 辻念仏

7月20日、兼山の町自治会で、「うんか送り」(虫おくり)が行われました。地区の古老が竹と藁で作った長さ1mほどの小舟に3体の人形を乗せ、子どもたちが木曾川に流しました。
また、同地区で、7月23日から25日まで、「辻念仏」が行われました。下町の3カ所の辻で順に念仏を唱えるもので、3百年以上の歴史があると言われて

FLASH★

1

西帷子 石原の建速神社では、7月19日に「提灯祭り」が行われました。山車には100個余りの提灯が飾られ、自治会役員らによる夜店も、浴衣姿の子どもらで賑わっていました。
7月31日には、土田の白鬚神社で、「輪くぐり祭」が行われました。浴衣姿の子ども連れなどが、祭壇の御幣に茅の束で水をかけてから、茅の輪を左回り、右回りとくぐり無病息災を祈りました。



石原 提灯まつり



土田 白鬚神社 輪くぐり

可児夏まつり2008など

熱く盛り上がった可児の夏



夏の夜空を彩る噴き上げ花火

8月9日、10日、可児夏まつり2008が、可児川沿いのふるさと川公園で行われました。
10日の日中は、魚つかみ大会など親子で楽しめる催しが多く行われ、夜は総踊りなどで盛り上がりました。
10日夜は、4回目となる噴き上げ花火が多く市民を喜ばせました。今年の花火は、発射場が幅広く設置され、より迫力の増した光と音の演出に、会場を訪れた市民から歓声が湧きました。
また、花フェスタ記念公園でも、真夏の縁日や、打ち上げ花火が行われ、多くの人で賑わいました。

FLASH★

2



たくさんの人が楽しんだ総踊り



「捕まえたよ!」(魚つかみ大会)



花フェスタの打ち上げ花火 (8月17日)

7/23~8/8 夏休みの思い出

子どもたちの夏の講座



「こんなにきれいに染まりました」(藍染め教室)

夏休み期間中、子どもを対象にさまざまな講座やイベントが開かれました。
7月23日、広見公民館ゆとりピアで、夏休み親子体験教室「藍の葉っぱで染めよう」が開催されました。参加者は、講師の堀部すみ奈さん(愛岐ヶ丘)の指導のもと、藍の生葉をミキサーにかけ、染液作りから楽しみました。
7月31日・8月8日の2回、夏休み親子の市政見学バスが運行され、ささゆりクリーンパークやフレビアなどの施設を訪れ、ごみ処理や多文化共生などについて学びました。

FLASH★

3

びんを使った風鈴づくりが行われ、親子でリサイクルについて楽しく体験しました。



外国人相談員によるダンス講習(市政見学バス)



でき上がった作品(風鈴づくり)

8/9・10(17)

アキラ6周年

アキラ祭りにたくさんの人出

7月27日、(財)可児市文化芸術振興財団により「アキラ祭」が行われました。小劇場では、多文化共生プロジェクト「East Gate」が上演され、ブラジル人、中国人、日本人の有志らが、日本に来て感じたことや故郷への思いを演劇で表現しました。
その他、森山威男と田中信正によるジャズセッションやさんしろう絵本ライブなども開催され、約4000人の市民が楽しみました。



演劇「East Gate」のひとつ



民俗楽器の演奏など(水と緑の広場)

FLASH★

4

歩行者と自転車安全に

太田橋の歩道橋が完成

8月11日、今渡と美濃加茂市御門町を結ぶ太田橋に歩道橋が完成し、記念式典が開催されました。来賓が出席した式典の後、今渡幼稚園の園児が器楽演奏をした後、元気に渡り初めをしました。同橋は、昭和2年2月に完成したもので、80年の歳月を経て、歩行者の安全のために歩道橋が架けられました。



渡り初めをする市長と園児ら

FLASH★

5